




放射線治療を受けられる患者さんへ

患者氏名：

主治医：

担当看護師：

項目	月日 入院	～	退院
達成目標	・腸閉塞の症状（排ガス・排便がない、嘔気・嘔吐がある、腹部膨満感がある）の所見がない		
治療・薬剤 (点滴・内服) ・処置 ・リハビリ	<ul style="list-style-type: none"> ・CT検査で治療の部位やどの方向からどのくらいの量を何回に分けて治療するのかを決めます ・皮膚表面に目印を付けます 		<ul style="list-style-type: none"> ・治療期間は通常、月～金曜日までの週5日です（土曜日、日曜日、祝日は休みです） ・治療を受ける場所は1階の高エネルギー室です ・治療は皮膚表面に書いてある印をもとに、放射線技師により行われます ・治療時間は治療室に入ってから出てくるまで10分程度で、実際に放射線が照射されている時間は数分です
検査	<ul style="list-style-type: none"> ・内診 ・CT検査 ・採血 	<ul style="list-style-type: none"> ・治療効果や副作用がどの程度あるかを確認するために、医師が週に1回、膣内の洗浄を行い診察します 	
活動・安静度	・制限はありません		<ul style="list-style-type: none"> ・10時退院予定です ・次の受診日を確認してください <p>【退院の生活について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・免疫反応が低下し抵抗力が弱くなることがあるため、手洗い、うがいの励行、外出時にはマスクを着用し、感染予防を行いましょう ・下痢をしている場合は、十分な水分補給を行い、脱水を予防しましょう ・治療を受けた皮膚は傷つきやすくなっているため、刺激を避け、保護するようにしましょう <p>【以下の症状があるときはご連絡ください】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・37.5℃以上の発熱が半日以上続くとき、悪寒、ふるえ ・膀胱炎症状（排尿時の痛み、残尿感、頻尿） ・感冒症状（咽頭痛、咳、鼻汁） ・外傷がある場合は傷口の赤み、腫れなどの症状 ・排泄時の痛みや出血 ・腹痛 ・膣からの排便 ・浮腫みが強くなる <p>【緊急連絡先】 宮崎大学医学部附属病院 月～金 時間内（8:30～16:30）産婦人科外来：0985-85-9332 土・日・祝日 時間外（16:30～8:30）4階西病棟：0985-85-1746</p>
食事	<ul style="list-style-type: none"> ・制限はありません 		
清潔	<ul style="list-style-type: none"> ・シャワー浴 ・皮膚表面の目印はこすらないように注意してください 		
排泄	<ul style="list-style-type: none"> ・治療前にはお手洗いを済ませておいてください 		
患者様及びご家族への説明 栄養指導 服薬指導	<ul style="list-style-type: none"> ・医師より説明があります ・食事の変更ができます *例:お粥希望・パン食希望 *治療のため吐き気が出た場合には、病院の食事を欠食にすることができます  <p>(放射線治療について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・副作用の対処方法について説明を行います ・個人差もありますが、吐き気などの副作用症状が出る場合がありますので、異常を感じたらご相談ください 		<ul style="list-style-type: none"> ・退院後の生活について説明します



※この経過表は入院から退院までのおおよその経過をお知らせするものです。諸所の理由で経過通りにいかない場合もありますことをご了承ください

宮崎大学医学部附属病院